

地域医療支援病院の要件の追加について

【区南部】

○既存の地域医療支援病院でも実情が異なる。区南部では大田区からはDPCコード実績で上位4病院が検討会に参加しておらず、地域医療支援病院3病院が全く関知しない議論になってしまった。オブザーバー参加したが、発言機会も与えられず残念。

要件の例示が曖昧過ぎること、通常期間では実績が積めないことが問題点になると思う。具体的な条件を設定する段階で制度設計上のフリーハンドを大きくしておきたかったのかもしれないが、その段階で制度と実際のミスマッチが起きないか懸念が残る。通常期間の準備状況、BCPの提出などが今後想定されるが、このような条件の検討は地域医療構想調整会議の枠から外れると感じている。

新型コロナウイルス感染症に関する地域での対応状況について

【区西北部】

○練馬区では新型コロナ自宅療養者に対して、診療、処方等を希望される方は、医師会内サポートセンターを通じて、在宅医が電話・Web・往診対応をする体制を作っている。しかし、診療所に経過を追うことは在宅医だけでは無理なので訪看と連携したいが、訪看に対しては現在一切補助金等が設定されていないため、連携し難い状況である。

○自宅療養患者に24時間対応し、配達してくれる薬局及び酸素生成機器会社のリストを作ってもらいたい。

【区西南部】

○現在のコロナ感染の受け入れ状況の厳しさが良く理解できた。

○現在当院ではコロナ感染者の受け入れは行っていないが、回復期病棟で数名の陽性者が発生。転院ができず、院内で隔離し見ている状況。完全に陽性者を見る体制ができていれば問題はないが、そうでないため、他の患者への感染拡大予防にギリギリで業務を行っている状況である。他の病院の状況が見えないと「なぜ転院ができないのか？」と保健所へ問い合わせをしてしまっていたが、状況が解れば保健所への負担をかけなくて済む。なんとか、各医療機関に現状を知ってもらう手段がないだろうか？

○慢性期の病院でも、退院基準を満たさない患者受け入れを行っている状況を知り、こういったことも早期に慢性期の病院等に知らせるべきかと考える。（当院は医師の問題で難しいかもしれないが、他の病院からのコロナ以外の受け入れをすることで、その病院にコロナ患者を受け入れられるかもしれない）

○今回は看護の位置からの発言は出来なかったが、こういった内容の時は、各区から看護の代表者が出ることでもっと様々な意見や情報が出ると思う。現場で、一番患者の近くで活動するのは看護なので、是非看護の出席を増やしてほしい。

【北多摩南部】

○WEB会議は時間的制約もあり、参加者全員が発言する時間的余裕はない。また、発言されない先生方も一定数おられるので、実際に地域のそれぞれの医療機関が実際にコロナに対してどう対応しているのかの現状がなかなか見えにくいと感じた。可能であれば、会議の趣旨は開催前にあらかじめ決まっているでしょうから（例えば、今回なら①ひっ迫した保健所業務をどこまで各々の医療機関がカバーできるのか、②自院で可能なコロナ患者への対応、がメインテーマだった？とは感じた）、事前アンケートで各医療機関に対してアンケートを事前回収して、会議に臨むのはどうか。例えば今回でいえば、①ひっ迫した保健所業務を軽減するために自院で対応可能な点があればお書きください

②第5波の中、自院で対応している診療業務（コロナ・非コロナそれぞれ）についてお知らせください。

として、アンケートの結果を会議で司会の先生方が発表、医療機関・行政（保健所・都）で共有して、お互いにカバーしあう（連携を強化する）ととっても良いかな、と思った。